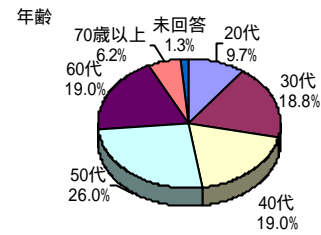
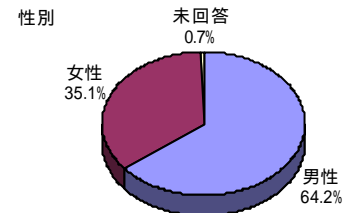


第 1 回市民アンケート調査結果

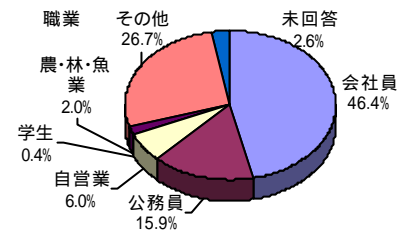
年齢		
	総数	%
20代	44	9.7%
30代	85	18.8%
40代	86	19.0%
50代	118	26.0%
60代	86	19.0%
70歳以上	28	6.2%
未回答	6	1.3%
総数	453	



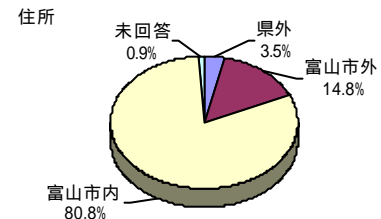
性別		
	総数	%
男性	291	64.2%
女性	159	35.1%
未回答	3	0.7%
総数	453	



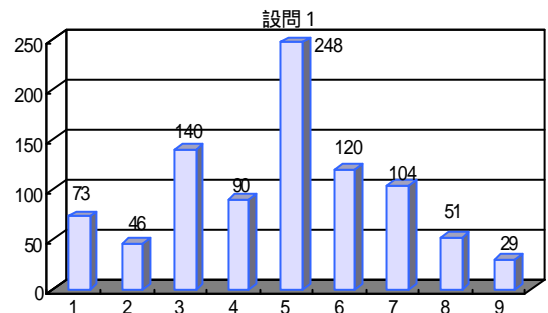
職業		
	総数	%
会社員	210	46.4%
公務員	72	15.9%
自営業	27	6.0%
学生	2	0.4%
農 林 魚業	9	2.0%
その他	121	26.7%
未回答	12	2.6%
総数	453	



住所		
	総数	%
県外	16	3.5%
富山市外	67	14.8%
富山市内	366	80.8%
未回答	4	0.9%
総数	453	



設問 1 現状の富山駅及びその周辺地区において、あなたがふだん、不便さや危険さを感じる点は何ですか。(2つ選択)		
	総数	%
1.鉄道、バス、路面電車、タクシーなどの乗り換えが不便	73	16.1%
2.冬場は利用がしにくく、凍結などでスロープも危険	46	10.2%
3.駅の南北を利用するのに、地下道を利用するのが不便	140	30.9%
4.駅周辺の交差点を渡るのに時間がかかり面倒	90	19.9%
5.車での利用や送り迎えが不便	248	54.7%
6.ゆっくり憩える場所がない	120	26.5%
7.駅周辺で買い物しにくく不便	104	23.0%
8.都心生活を支える施設が不足しており不便	51	11.3%
9.その他	29	6.4%
総数	901	
	n=	453

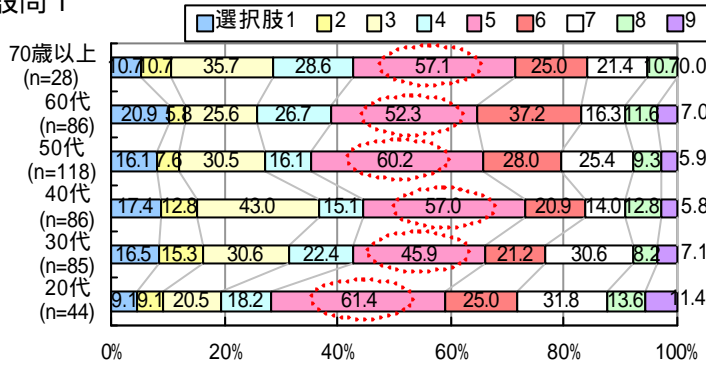


[その他意見]

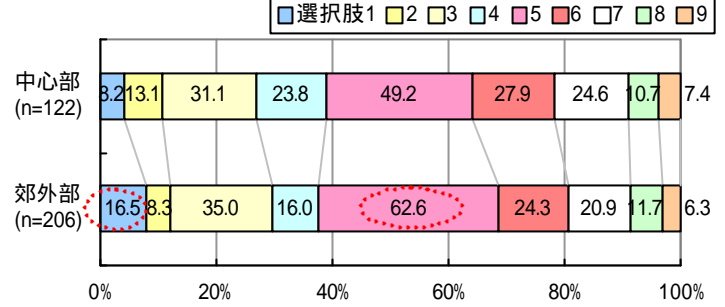
- ・駐車場・駐輪場が少ない。狭い。料金が高い。(5名)
- ・車や自転車、モーターバイクで南北通行するためのゆるやかなスロープがないこと(3名)
- ・冬場、道路の隅に水が溜まる。歩行者がかわいそう。特に学生(2名)
- ・駅周辺の商店の閉店時間が早い(駐輪場の深夜出入場ができず不便)(2名)
- ・富山駅の地下道(駅北側のベンチのあるところ)でホームレス風の人がいる。また、通路にストリートミュージシャンがいる。風紀が乱れているので、管理者(富山市)で排除するべき。
- ・日中はほとんど乗客客がいなく、周辺住宅へ騒音・振動を与えている路面電車は廃止してノンステップバスにするべきである。
- ・地下道が暗く、人通りも少なく怖い。駅内にエスカレーターやエレベーターがなく不便
- ・電車賃とバス賃の料金価格の矛盾 ・防犯上の対策強化が必要 ・バスの本数が少なすぎる ・駅前に魅力がない
- ・ロータリー及び駐車場が狭くて不便 ・これ以上便利が必要だろうか ・楽しい街 ・楽しさ、期待感が少ない
- ・市内電車の信号が出るのが遅い ・交通ルールが守られておらず危険 ・マリエとシックをつなぐ地下道がないので不便
- ・せっかくの地下道があるのに利用率が低い。

設問 1

クロス集計 (年齢)



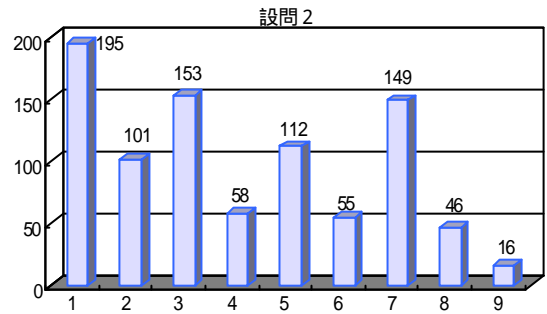
クロス集計 (市内居住地)



- ・「車での駅周辺利用」に不便さを感じている意見は全年齢層を通し、最も高い割合を占めている。
- ・「車での不便さ」を感じている意見は、市内中心部(約 50%)よりも、郊外居住者(約 63%)にやや多く見られる。
- ・同様に、「公共交通の利便性」は、中心部よりも郊外居住者層で高い。

設問 2 北陸新幹線整備に併せた鉄道の高架化による富山駅及びその周辺地区における南北一体的なまちづくりを計画する中で、そこに富山らしさを発揮し、魅力的な都市空間とするために、あなたが最も重視する点は何ですか。(2つ選択)

	総数	%
1.周辺の商業機能の集積を活かした賑わいの創出	195	43.0%
2.地域の水や緑の豊かさを活かした空間の演出	101	22.3%
3.道路や広場と、沿道のまちなみ等が美しく調和した景観	153	33.8%
4.21世紀の富山を象徴するような新しいイメージの空間	58	12.8%
5.立山や富山港などの大自然を活かした眺望の獲得	112	24.7%
6.富山の生活文化や伝統産業などを活かした交流の拠点	55	12.1%
7.高齢者などにやさしく便利な駅づくり	149	32.9%
8.環日本階の拠点都市としての国際性	46	10.2%
9.その他	16	3.5%
総数	885	
	n=	453

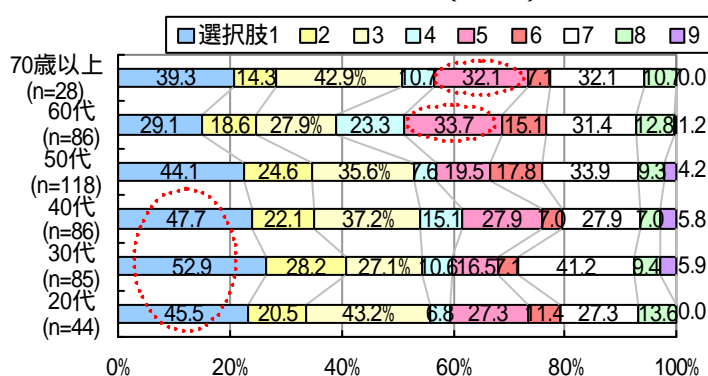


[その他意見]

- ・無味乾燥な現代性を追及するのではなく、自然を大切に、他の都市にない日本の伝統を重視した、玄関口としての駅周辺。味覚中心の富山(4名)
- ・余裕のある駐車場施設。無料の地下駐車場。マイカー利用車への配慮。(3名)
- ・富岩運河の船着場が駅周辺の一部になれば良いと思う。親水公園が活かされていない(2名)
- ・駅周辺の一角に昔のヤミ市のようなごちゃごちゃした施設が集積できる空間
- ・国際観光拠点としての機能と、エンターテインメント性
- ・立体交差にする必要性・意義についてもう一度検討する必要があるのではないか。鉄道の高架化ありきの発想はいかがなものか。
- ・東京化を目指さないまちづくり。田舎で十分
- ・イベント広場
- ・盲導犬や視聴覚障害者の人にも優しい駅づくり

設問 2

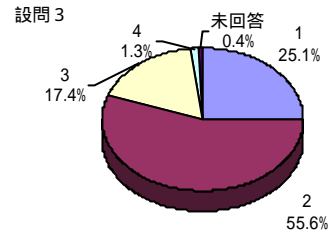
クロス集計 (年齢)



- ・20、30、40代で「商業施設を中心にした、駅周辺の賑わい作り」を望む意見が高い。
- ・年齢別 60代以上の回答者では、「自然を活かした眺望の獲得」を望む意見が高い割合を占めている。

設問3 あなたは、これからの富山のまちづくりにおいて、特に都心部の交通を、どのような方向にしていこうと望ましいとお考えですか。

	総数	%
1.車の利便性確保に重点をおいたまちづくり	115	25.1%
2.公共交通の利便性に重点をおいたまちづくり	255	55.6%
3.歩行者や自転車の利便・安全性に重点をおいたまちづくり	80	17.4%
4.その他	6	1.3%
未回答	3	0.7%
総数	459	

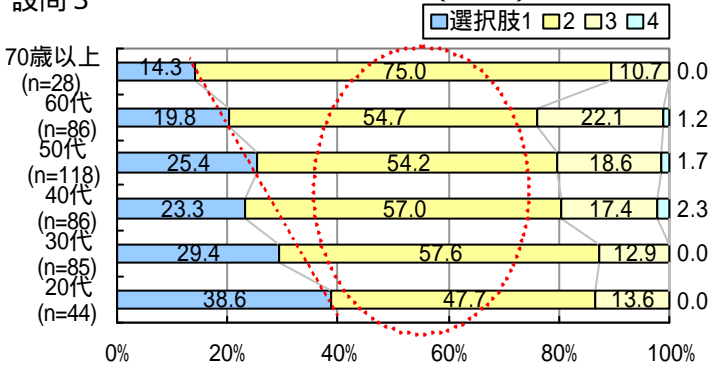


[その他意見]

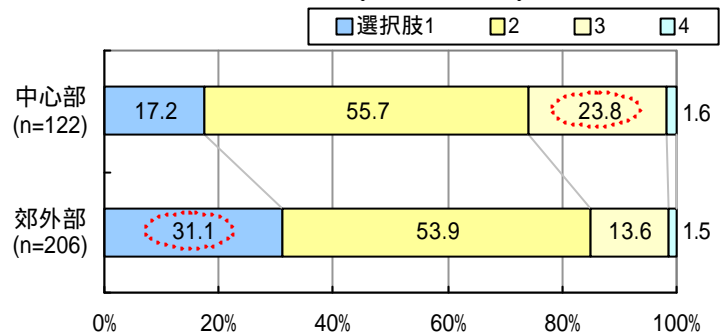
- ・既存の交通手段を活用したまちづくりを行い都市の活気を取り戻してから順次交通機関を開発していく。(次代の交通機関のプランを公募してください)
- ・天候に左右されない地下商業施設と地下道によるアクセス網
- ・市電の路線を延ばすだけでは足りないので、都心部にバスターミナル、駐輪場などを設けて、市からアピールしたまちづくり
- ・路面電車を廃止し、ノンステップバスの導入
- ・緑がほしい
- ・3項目(選択肢)がバランスよく、調和のとれた利便性

設問3

クロス集計(年齢)



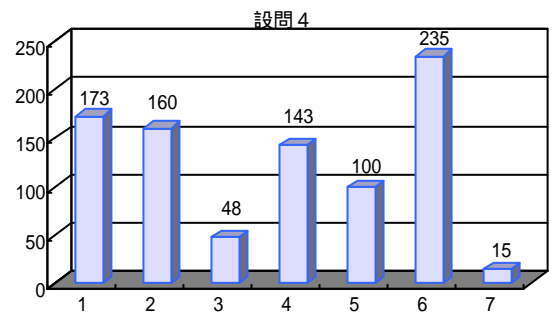
クロス集計(市内居住地)



- ・「公共交通の利便性」を求める意見は、全年齢層と県外、市外回答者の属性において高い。
- ・「車での利便性」を求める意見は、若い年齢層ほど高い。
- ・「公共交通」の次に、都心部居住者は「歩行者・自転車重視」が高く、郊外居住者は「車重視」が高い。

設問4 あなたは、これからの富山駅及び駅前広場などの駅周辺に、どんな機能があればよいと思われますか。(2つ選択)

	総数	%
1.楽しいショッピングができる商業機能	173	38.2%
2.仕事帰りや休日に、時間を過ごせる飲食や娯楽の機能	160	35.3%
3.都心生活を支える住宅や福祉などの生活支援機能	48	10.6%
4.観光やコンベンションなどでの来街者への案内や、送迎や待ち合わせなどの支援機能	143	31.6%
5.広場やギャラリーなどの空間による憩いの場や交流機能	100	22.1%
6.新幹線を利用して富山を訪れる人々が、どこにでも便利に行ける交通結節機能	235	51.9%
7.その他	15	3.3%
総数	874	

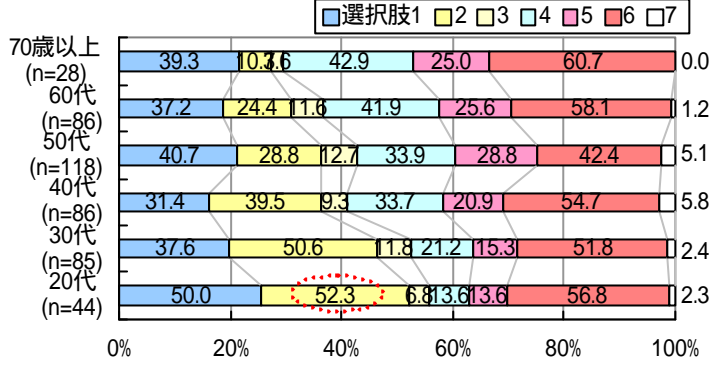


[その他意見]

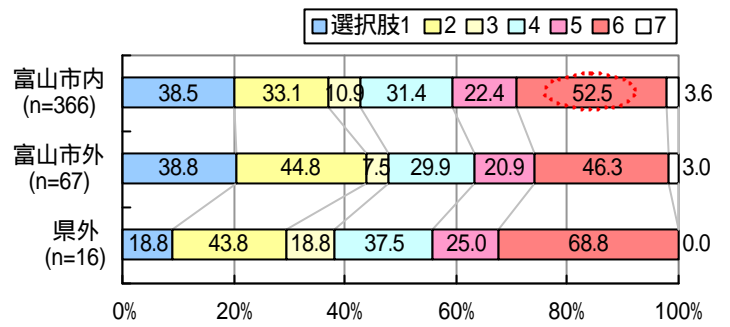
- ・駅南に隣接する大規模な駐車場(地下駐車場) 駐輪施設(2名)
- ・新幹線を利用して訪れる人々が、富山駅周辺は勿論のこと、次に県のどこかを訪ねてみたいとする雰囲気を持った所になければならない
- ・ハード面だけでなく、ソフト面の対策が必要。金沢の成功を参考に対策を検討する必要がある。
- ・地元の小々な商店が生き活きと高いまち
- ・新幹線のない駅、バス、終電車等公共交通機関の最終時刻が遅い駅
- ・全国都道府県の小店舗、季節毎に変わる特産市場やイベント実施及び、通販を含む情報発信
- ・交番、災害時のための救急品、日用品、大工道具の貯蔵所、備蓄施設
- ・地下商店街と一体となった広々とした空間
- ・車でアプローチしやすい道路機能
- ・映画館
- ・乗り物を乗るので他の機能必要なし
- ・富山大空襲を語り継ぐ資料展示場所

設問 4

クロス集計 (年齢)



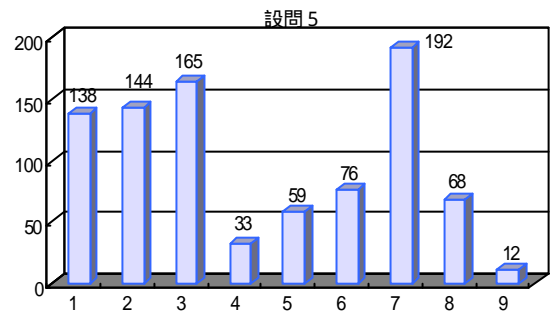
クロス集計 (居住地)



- ・「飲食や娯楽機能」を求める意見は、若い世代に多い。
- ・市内居住者の半数以上が「交通結節機能」を望んでいる。

設問 5 鉄道の高架化で生み出される高架下空間について、あなたは、どんな施設があったら良いと思われますか。(2つ選択)

施設	総数	%
1.コンビニなどの便利な商業施設や飲食施設	138	30.5%
2.地元の物産などを販売する市場や物産センター	144	31.8%
3.路面電車やバスの停留所などの交通施設	165	36.4%
4.行政の窓口サービス施設	33	7.3%
5.託児所や図書館などの生活支援施設	59	13.0%
6.観光案内や情報提供施設	76	16.8%
7.駐車場や駐輪場	192	42.4%
8.イベントなどができる広場などの空間	68	15.0%
9.その他	12	2.6%
総数	887	
	n=453	

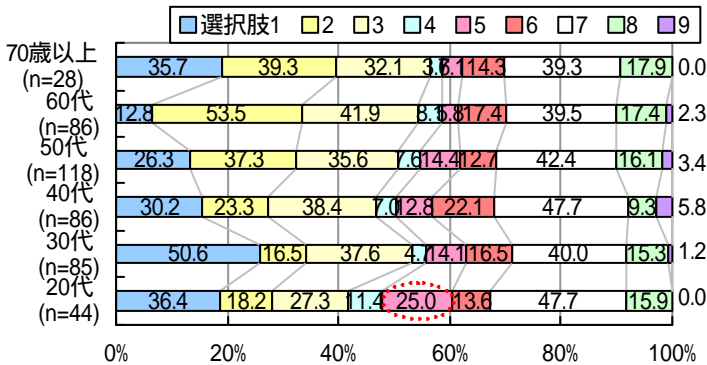


[その他]

- ・お風呂・温泉・足湯 (2名)
- ・1-8 (選択肢) のどれでも可。土地利用によって判断すべきもの
- ・高架化すれば良いのではなく、高岡駅が何故さびれてしまったのかを十分検討して整備するべき。
- ・高架下であるので、安全性を重視し、環境にも配慮がほしい。
- ・時間つぶしができる複合施設
- ・高架下空間を施設で埋めるのは良くない。
- ・南北をつなぐ道路を増やしてもらいたい
- ・屋内広場などの憩える施設
- ・オープンカフェ
- ・救急医療施設

設問 5

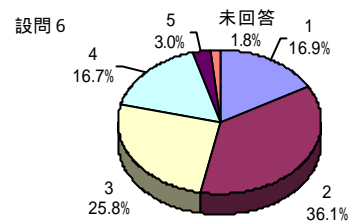
クロス集計 (年齢)



- ・「生活支援施設」は、20代で比較的高い。

設問6 駅周辺整備にあたり、あなたは、将来の富山駅周辺の土地利用のあり方として、どのような方向が良いと思われますか。

	総数	%
1.住宅機能を強化し、商業機能との接合を図る	78	16.9%
2.商業・業務機能の集積を図る	167	36.1%
3.文化施設・公共施設の導入を図る	119	25.8%
4.オープンスペースのある低層階の土地利用を図る	77	16.7%
5.その他	14	3.0%
未回答	7	1.5%
総数	462	
	462	

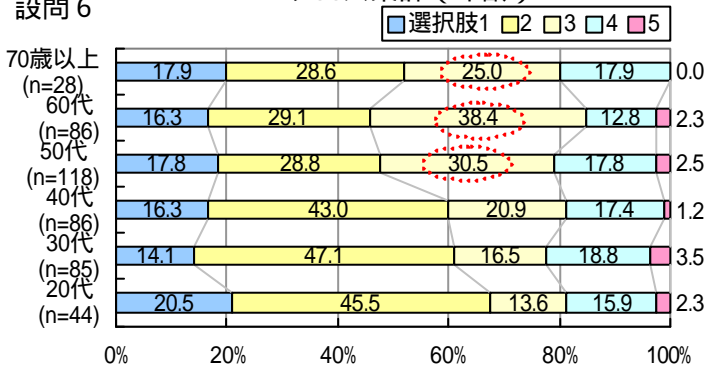


【その他】

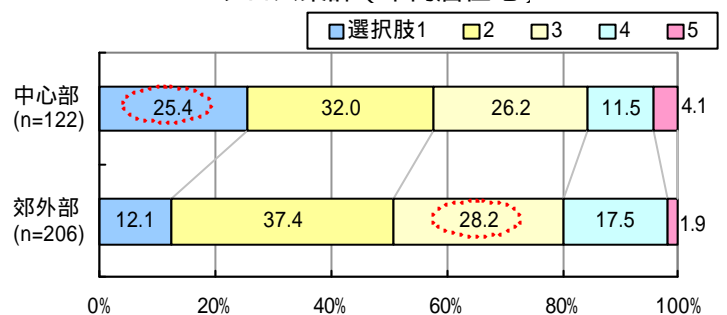
- ・(無料)駐車場の充実(3名)
- ・快適な待ち合い場所の確保
- ・たくさんのショッピングセンターがある街
- ・中心地区の住み良さ(人口増加)の視点での整備
- ・パークアンドライドの促進
- ・駅は市の顔。玄関。広がりのある緑の空間こそ望ましい。
- ・全てを計画的に、改装することなくしてほしい。
- ・北陸新幹線開業は平成25年とされており、あと10年あることから社会情勢や人の考え方もどのように変わるか予測できない部分がある。現時点では空間をできるだけ残しておき、方向性の決定をあまり急がない方がよいと思う。
- ・緑の豊富な広場

設問6

クロス集計(年齢)



クロス集計(市内居住地)



- ・高齢者層では、商業・業務機能よりも文化・公共施設の導入を求める意見が高い。
- ・「商業・業務機能」に次いで、市中心部居住者では「住宅機能強化」、郊外居住者では「文化・公共施設」がそれぞれ高い。

設問7：そのほか富山駅周辺地区の整備についての意見（概要）

駅整備について

< 気候・環境への配慮 >

- ・全天候型を考慮する（冬期を特に）(2名)
- ・非常時、特に除雪作業時の排雪スペース等も確保しておくべき。

< 南北自由通路 >

- ・南北は単なる通路ではなく、広々として楽しく歩行できる工夫がほしい。(4名)
- ・南北自由通路は、地下1階と地上1階の複合式として、それぞれ南北の既存歩道や地下道に直結させる。

< 高架下利用施設 >

- ・地元の物産を販売する市場やセンター、市民マーケットの導入。(近江市場、和商市場のように)(6名)
- ・県、市の窓口業務各課(2名)
- ・高架下は清潔に安全に保つことが大切だと思います。(2名)
- ・無理をして整備をせずに、フリースペースにして、人が集える場所にする。都市の中心に自由空間があるということは、まちの大きな魅力になると思う。
- ・観光客に感動を与え、優しい駅にする。 ・分かり易く入り易い広々としたスペースの観光案内所の設置。
- ・高架化は最小(最短)に抑えるように。 ・長期間の意見公募をしてほしい。

< 駅の魅力・イメージ >

- ・人が集まり、遊べる場所。県外からの来訪者がまた来たいと感じられる場所にする。(2名)
- ・富山の良さ(イベント、祭り、食べ物等)を全国に発信できるような場所。(富山をイメージさせる)(2名)
- ・あれもこれもとかがえるのではなく、贅沢と言われてもゆったりとした空間を大切にすべきと考える。
- ・富山駅に行けば何かがある・何かができる・何かが待っている等老若男女が期待できる駅になってもらいたい。
- ・見た目の美しい駅であること。観光の中心であること。交通の中心であること。歩いてみたくなるようになること。乗換えの時に少しでも時間があれば、駅の外に出たくなるようであること。

< 駅のデザイン >

- ・「県の顔」富山駅であってほしい。(4名)
- ・残すべき富山の伝統を示すべきではないか。(2名)
- ・立山をイメージした岩山から水が流れ滝のあるスペース。
- ・新しい富山駅の壁面、屋根などをガラス構造とし、内部からは雄大な眺望が確保できるようにする。
- ・新幹線駅屋上に広い展望スペースと憩いの場を設ける。 ・列車待ち合わせ等の際の快適な場所の確保

< 利便性の向上 >

- ・交通機関の利便性を向上させてほしい。(動線の短縮、地铁のJR乗り入れ等)(5名)
- ・JR、地铁、路面電車の富山駅での一体化。少なくともJRと地铁の相互乗り入れか、ホームを一体化してほしい。乗換えのたびに外に出るのは、不便である。

< その他 >

- ・駅周辺の整備にあたり、工事などに伴う騒音が心配。騒音対策と工事車両の違法駐車がないように。土日には工事を行わないでほしい。(3名)
- ・新幹線は絶対に不要。(2名)
- ・富山駅北口の現市営駐車場と富山駅を屋根付き歩道橋で結ぶ。
- ・軌道線の上に立体高架橋を建設し、富山駅正面まで行き来できるようにしてほしい。

駅前広場整備について

- ・ペDESTリアンデッキを整備し、シック等と結ぶ。(地上部に交通施設)(7名)
- ・雨の日も雪の日も快適に歩行できるようにして頂きたい(使い勝手の良い上屋、誘導通路の整備)(6名)
- ・自家用車等で駅への利用者が送迎し易い施設の整備が必要。(送迎車スペースの拡充)(3名)
- ・駅南の交差点改良(3名)
- ・マイカー、公共交通機関、歩行者が共存できる整備。バス、電車、タクシーにスムーズに乗れるように。(2名)
- ・駅前広場には、剣岳や称名滝を配置し、北アルプスへの基地をアピールする。
- ・木陰のできる緑が沢山あり、オープンカフェが素敵に配置されている空間にしてほしい。

まちづくりについて

- ・富山駅周辺だけでなく、総曲輪・中央通りなどを含めた人・公共交通の流れを考えたまちづくりにして欲しい。(郊外部へのコミュニティバス導入など郊外から中心部への公共交通整備)(3名)
- ・大きな息づかいのできる静かな落ち着いた町風景をつくってほしい。 ・歩行者優先のまちづくり。まち全体が公園
- ・駅南特に中心街(西町)以南、南富山方面のことも考えてほしい。これから合併する南をもっと考えてほしいと思う。
- ・市中から自家用車(一人乗り)の自粛を推進する。 ・デザインや町並みを統一させる。(看板なども同じ)

駅周辺整備について

< 道路・交通関連 >

- ・富山駅の南北の行き来を解消してほしい。(車・徒歩共に交通をスムーズに、南北交通バリアフリーに)(12名)
- ・駅西のガードは狭く、大雨で浸水する状況では交通渋滞のもとです。自動車の乗入れ規制も必要あると思いますが、渋滞をなくすことも排ガスなどの環境対策になります。(3名)
- ・牛島蛭川線の拡幅について計画されたのは10年前のデータで計画されている。現在渋滞が発生する地点は、富山栄養にトラックが入る場合とマツダレンタカーへ右折する車がいる、場合日赤の駐車場が満車になった場合です。一部だけ拡張するとか、拡幅する幅を小さくするなどしてはどうですか。
- ・現状で既存道路のアンダー化も完了しており、対自動車交通面でのメリットは、無いに等しいのではないかと。

< 公共交通関連 >

- ・公共交通機関の利便性向上(停留所の拡大、乗り継ぎを便利に、運行時間の延長、料金値下げ)(4名)
- ・3線(JR富山港線の市街軌道化、現行市街軌道、地鉄上滝線の市街軌道化)を一体化し、岩瀬浜地区、市中心地区、南部地区を直通運行可能な高架化のメリットを活かす。
- ・地鉄の市電の呉羽までの延長 ・駅までへの交通アクセスが地域によって利便性に格差がある。

< 環境対策 >

- ・自然をアピールするための親水公園などの環境整備が徐々に進んでいるが、せっかく周辺の景観をよくしても肝心の河川の汚染が極めて酷く、水辺公園としてのイメージダウンになっています。また、ダイオキシンの問題も未だに周辺の企業が、平然と汚水や焼却灰の垂れ流しをしています。大きな問題が起きないうちに徹底した行政指導を期待します。
- ・富山駅周辺は、生の樹木を多数配置すると共に、森林のにおいや音を活かした環境とする。
- ・潤いのある街づくりを実現させてほしい。「潤い」すなわち水である。富山市には単なる排水溝や公園の池などでカエルやメダカ、ドジョウが息を絶していても驚いた。水の清らかさは、全国に誇れるものである。このありがたさを忘れるかのように、排水路、用水路がコンクリートの蓋で覆われていくのは残念である。

< 施設整備関連 >

- ・使い易い(無料、短時間無料)駐車場を駅周辺に整備してほしい。パーク・アンド・ライド施設(29名)
- ・人が集まり、(夜間も)賑わいのある商業・飲食施・複合施設の整備(大手百貨店、大型スーパー、ショッピングモール、楽市楽座、若者向けのショップ等)、現存施設に併せた商業施設の集約、トランジットモール区域の設定(16名)
- ・自転車、バイク駐車場の整備(7名)
- ・買い物をしやすくするという点では、一時預かり託児所、保育施設などの設置や子連れでも歩き易い(ベビーカー)歩道を整備してほしい。児童館以外の子供と遊べ、他の親と交流の持てる施設(3名)
- ・官の発想でなく民あるいは企業的発想からの整備。市民・企業のやる気や活力・知恵を引き出し集約する。(3名)
- ・シックの改善。シックを対観光客向けのものでなく、もっと市民が使えるようにするべき。(2名)
- ・駅の北側にあっては、子供から老人まで幅広くスポーツを楽しんだりできる拠点づくり。
- ・県民会館のような施設。 ・国際性ある都市を目指してほしい。 ・深夜営業型商業施設(居酒屋以外にも)。

< その他 >

- ・金沢駅周辺整備にも劣らない、特色のある整備を望む(他県にはない富山らしさ「立山・おわら等」を活した整備)(8 名)
- ・地下道の利用と活性化(商業機能を持たせる、周辺ビル、商業施設と一体化させる、地下通路の廃止等)(8 名)
- ・広域的な視点での整備。郊外の人を引きつけるような魅力ある地域にしてほしい。中心市街地・郊外・周辺商店街等との連携。沿線開発(8 名)
- ・駅北の整備状況に合わせた、玄関口に相応しい駅南の整備を望みます。(駅南北の均衡ある発展)(7 名)
- ・若者の意見を聞き、若者に魅力ある周辺地区にし、若者をどう市内(県内)につなぎとめるか。協議会への 10 代 20 代の参加(6 名)
- ・富山市民だけでなく、色々な人が気持ち良く、また訪れたいと感じる地区にしてほしい。(県外から見た意見を取り入れる。観光・登山客への配慮)(5 名)
- ・インフラは整っているのに、そのインフラ上に人の賑わいが加われば、とても良い街になると思います。(ソフト方策の充実)(4 名)
- ・必然的に高齢者が多くなるのですから、若者だけで生き活きでなく、全ての年齢層に抵抗なく、微笑ましくほっとできるステーション地区にと望みます。(人が集い憩えるアメニティー空間の創出)(4 名)
- ・高層の建物があるためにシンボルの山々が見えなくなってしまった。駅北だけでも高い建物がない方がいい。運河の整備に併せ、水と山の美しさを強調した整備。合掌作り等平面にのびのびと眺められる土地利用にしてほしい(3 名)
- ・雪が多い富山は、歩行者には足元が悪く、特に融雪の水に悩まされています。傘を閉じたままで、かつ足元も気にならずにいるんな場所に行けると老若男女誰にも優しい街になると思います。(アーケード設置)(2 名)
- ・人口増加策とのリンクが必要。人口増を中心に据え、各種施策を講じていただきたい。(2 名)
- ・駅周辺地区の整備については、単品で考えないで複合的に考えてほしい。(2 名)
- ・駅の南側は、飲食その他商業施設と集合住宅を中心に、生活エリアの色をもっと出しても良いのではないかと思う。
- ・レンタル自転車店を要所に配し、コンパクトな街中を見て回れるようにする。
- ・駅周辺に緑、土(茶色)がない。北アルプスの素晴らしい背景とマッチした総合的まちづくりの検討が必要。
- ・無理に特産などを作りアピールすることは返って逆効果に思う。観光都市ではないところでうまくいっている例を参考に整備を考えたら、もっとスマートになるのではないかと思う。
- ・富山市の人口規模からして駅の南北同時発展は不可能。どちらか一方は捨てる覚悟が必要。総曲輪商店街を全廃して、シックに入居させるぐらいの抜本的改革をしない限り無理。
- ・駅北地区をもっと発展させるべきだと思う。 ・歩いて暮らせるまちづくり。
- ・観光客メインでなく、県民・市民にとって魅力ある整備。 ・日本海沿岸の国際都市としての位置を意識した開発。
- ・災害時の避難場所、人の流れ、混雑などにしっかり対応できる整備。 ・少し雑然さを生み出す仕組みの検討。

富山港線の路面電車化について

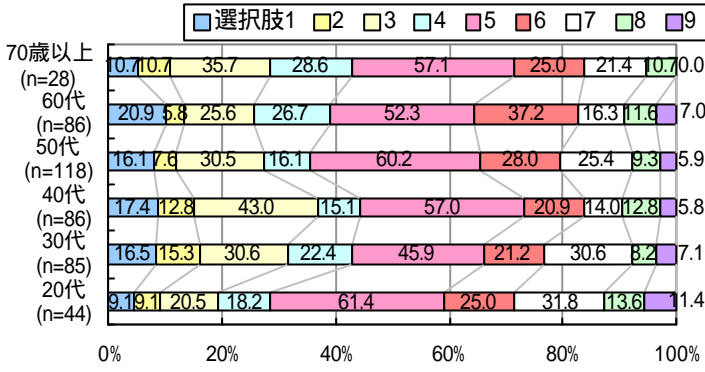
- ・路面電車の延伸。富山港線の路面電車化に併せて運行本数の増加と、新駅を設置してほしい。(乗換えなしの南北直結運行)(8 名)
- ・赤字路線の富山港線を第三セクターが運営する路面電車に変更しても、黒字路線になるとは考えられず、富山市の税金の無駄使いであると思います。このあと、市町村合併もありますし、財源が厳しければ厳しいほど、税金をもっと有効に使ってほしいと思います。(3 名)
- ・路面電車化に伴い道路は拡幅しないのか。近くに日赤病院があるが、渋滞などで救急車の到着が遅れることは人命にも係わる問題である。(2 名)
- ・奥田中付近より市街へ乗り入れすることなく、現在の富山駅最終地点まで線路床を利用するべく工夫する。新路線は第 3 セクターに絶対にしな。民間会社として経営する。
- ・南北一体化事業と富山港線の路面電車化がどの様に係わっているのか分からない。富山市は説明責任を有しています。地域住民説明を行っておられるようですが、地域単位の説明でなく、広く、県民に対しても説明すべきです。
- ・路面電車化でどれだけの活性化効果を期待しておられるのか分かりませんが、貧弱な発想であると思います。電車に変わるバス運行等の充実を考えられないのでしょうか。

バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

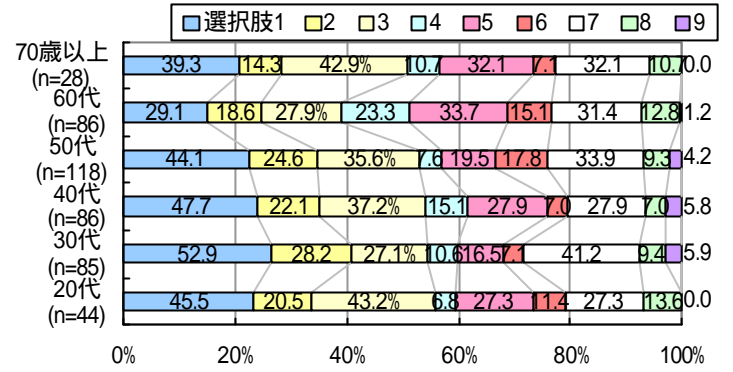
- ・人手を借りずに安心して利用できるバリアフリーの駅、駅広、駅周辺の整備(段差の解消、エスカレーター・エレベーター設置、身障者用トイレ、一目で分かる標識等)(13 名)
- ・富山で車を持っている人は、公共交通をあまり利用しない。だから、駅や駅周辺を整備する時は、お年寄りや車を持っていない人、車に乗ることができない人などの事を第一に考えてほしいと思います。

クロス集計 (年齢層)

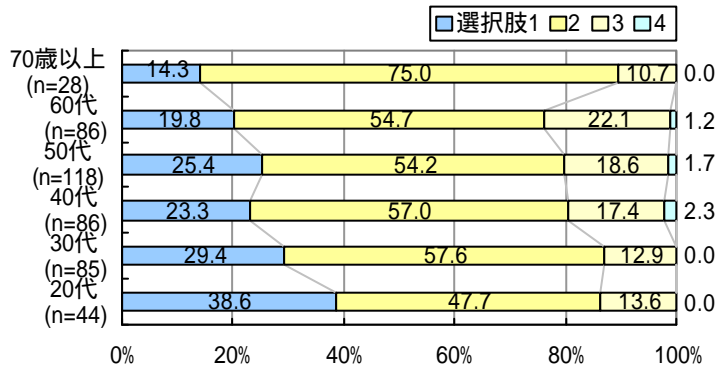
設問 1



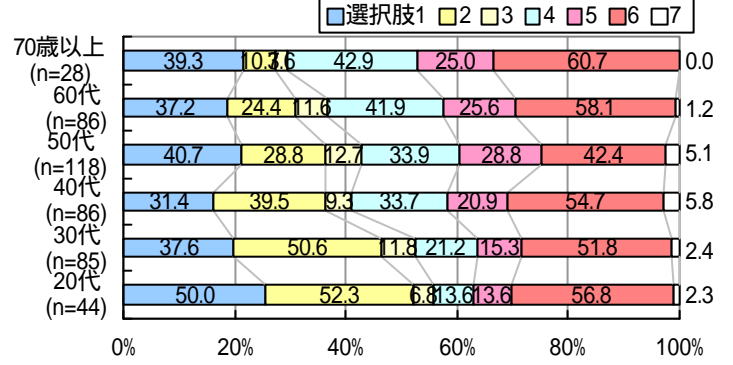
設問 2



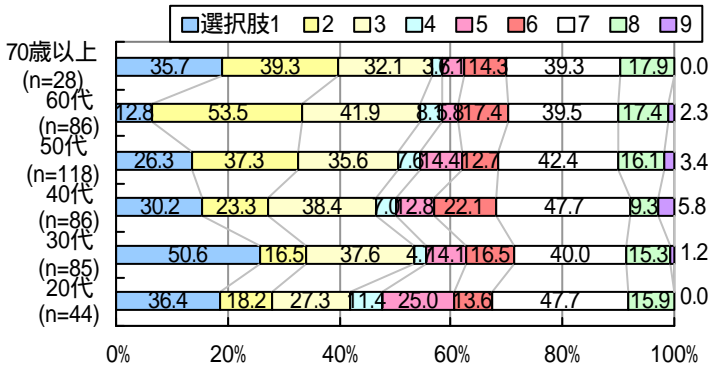
設問 3



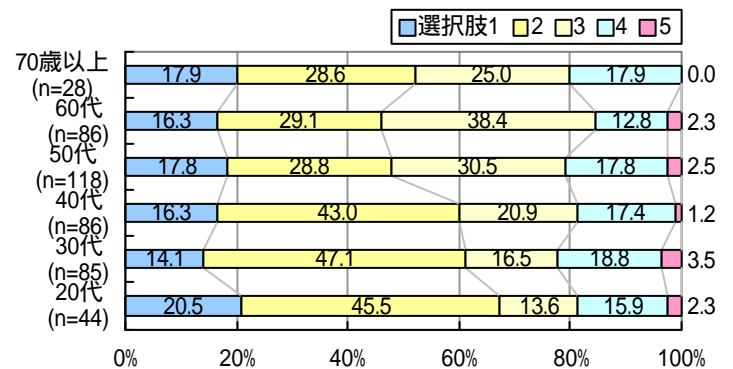
設問 4



設問 5

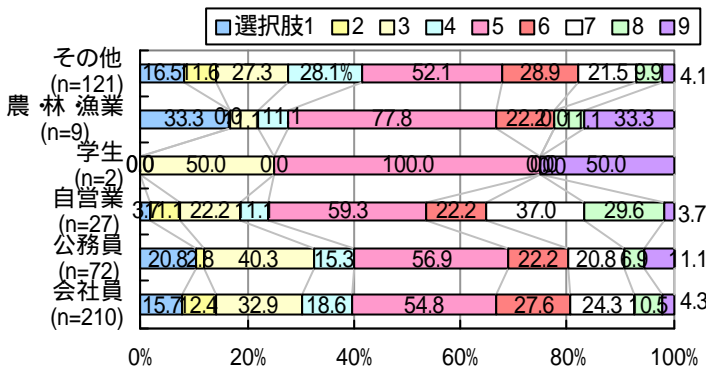


設問 6

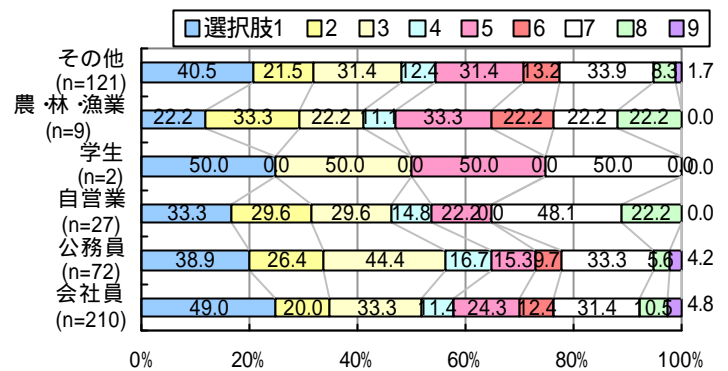


クロス集計（職業）

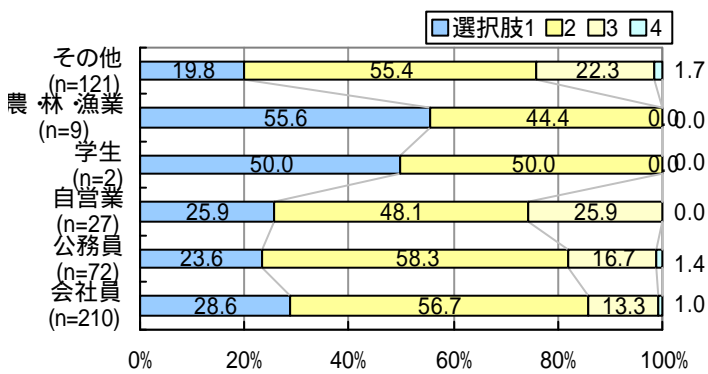
設問 1



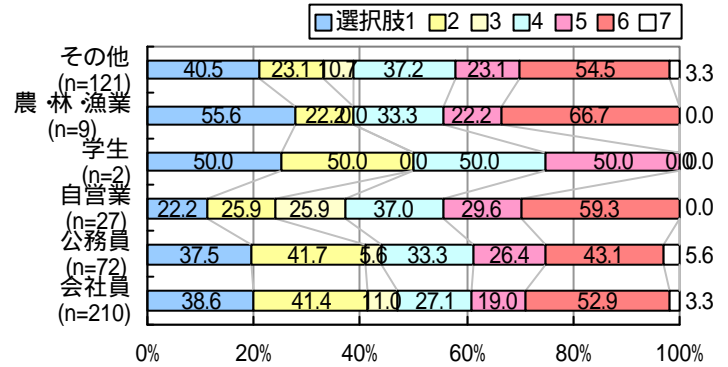
設問 2



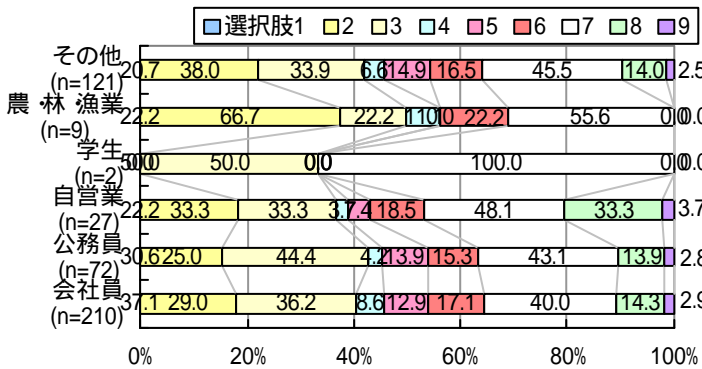
設問 3



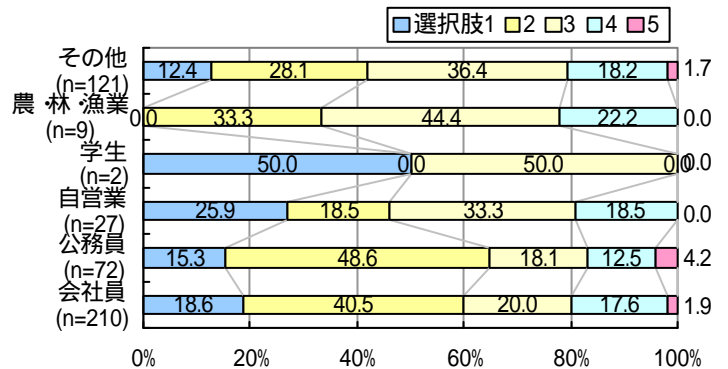
設問 4



設問 5

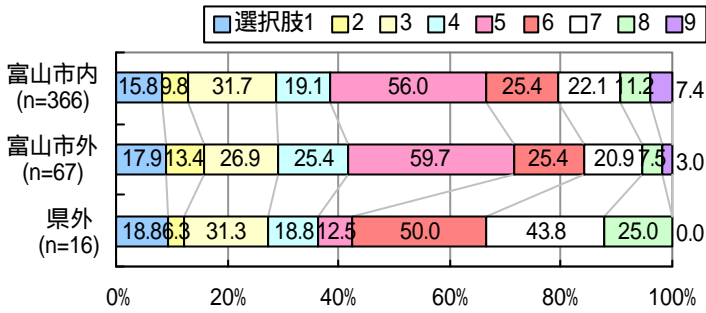


設問 6

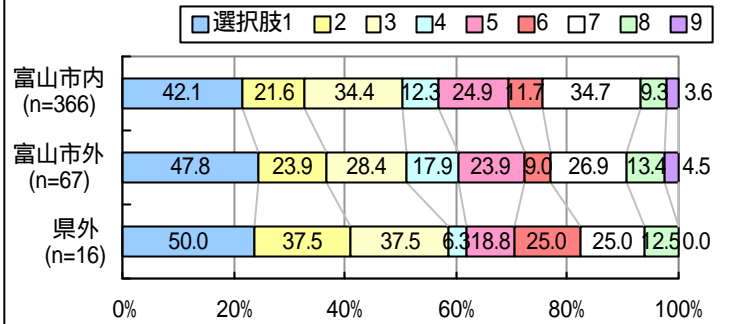


クロス集計（居住地）

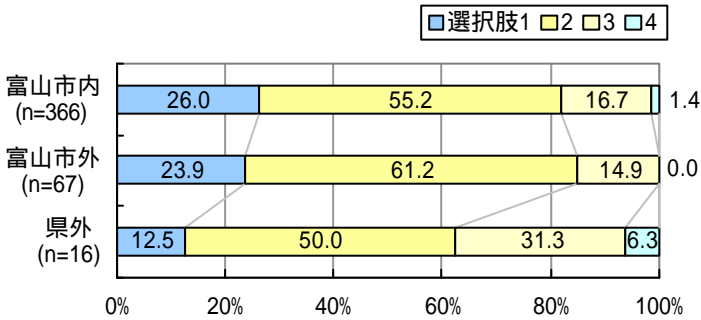
設問 1



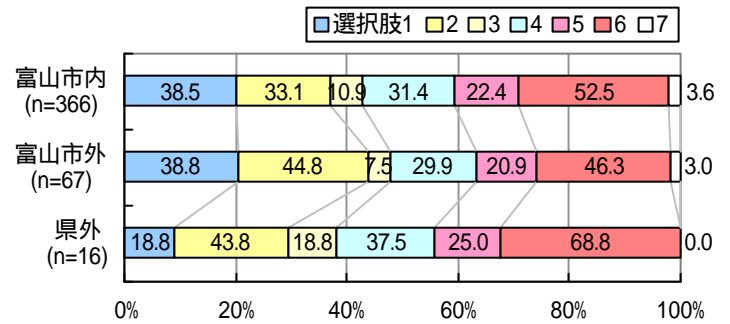
設問 2



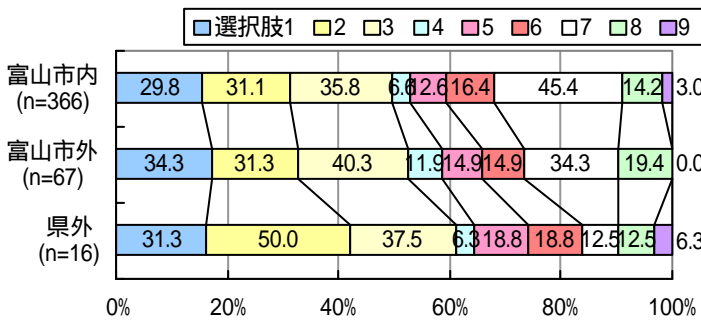
設問 3



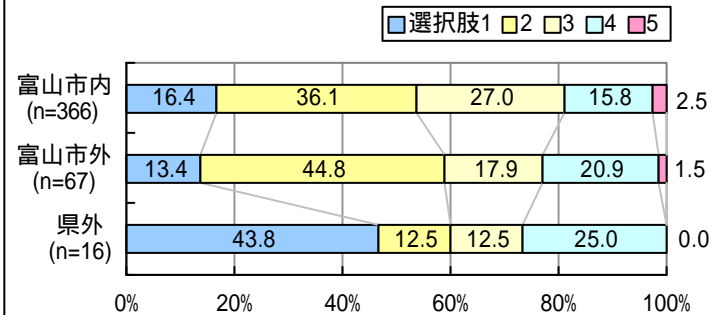
設問 4



設問 5



設問 6

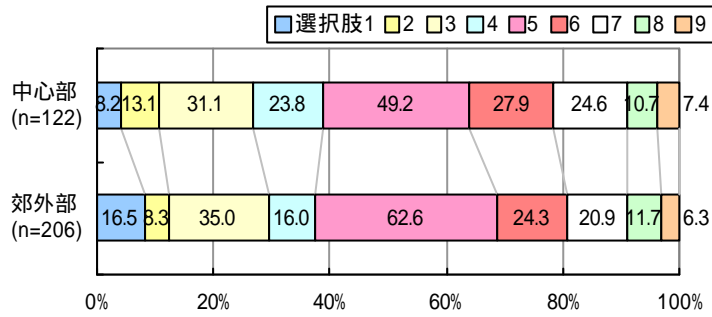


クロス集計（市内居住地）

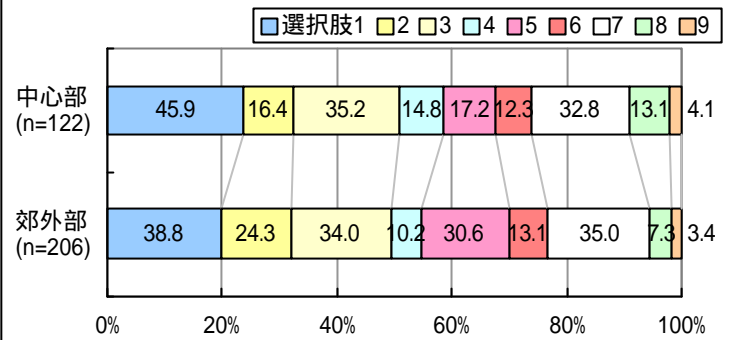
* 中心部：中央地域（総曲輪、愛宕、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町、西田地方町、堀川、奥田、奥田北、光陽）

* 郊外部：北部地域（岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎、針原、豊田）
 和合地域（四方、八幡、草島、倉垣）
 呉羽地域（呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多）
 西部地域（桜谷、五福、神明）
 南部地域（堀川南、蜷川、新保、熊野、月岡）
 東部地域（東部、広田、新庄、藤ノ木、山室、山室中部、太田）
 水橋地域（水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条）

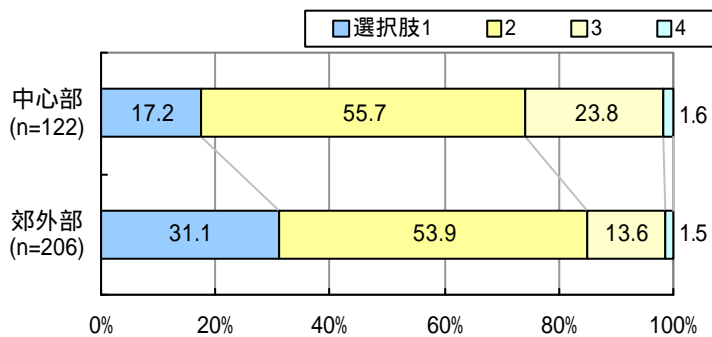
設問 1



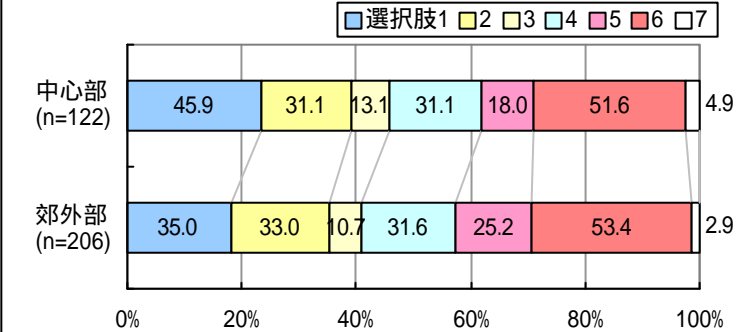
設問 2



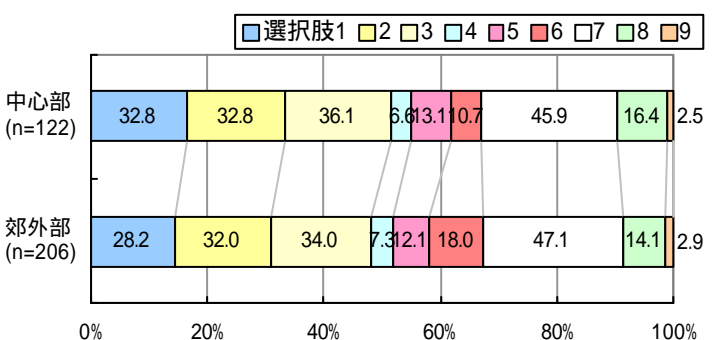
設問 3



設問 4



設問 5



設問 6

